

町田市議会議員・若者育成の街

# 吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評

## オリンピックを中止しよう！

支持政党なし TOKYO 自治宣言

今年は町田市を含めて、大半の自治体で成人式が中止となります。楽しみにしていた人も大勢いたでしょうし、その日のために晴着を用意した二十歳の若者には気の毒な思いがしますが、新型コロナ感染拡大が留まるところを知らず、新年となってもますます、増大してきました。「緊急事態宣言」が東京都、及び隣接3県に提供され、飲食店などの事業者には営業の時間制限が厳しく適用されます。

他方で、今年の7月から開催する東京オリンピックの開催は、スポーツの祭典、記録の競争という参加選手を主体にした考えから、菅総理にとってはいわゆる「国威発揚」、小池都知事にとっては、「東京の威信」のためにと変わり、為政者の名誉が優先された思考に変わってきました。



建設工事中の国立競技場を新装の日本青年館の上層階から、自分で撮影した写真です。

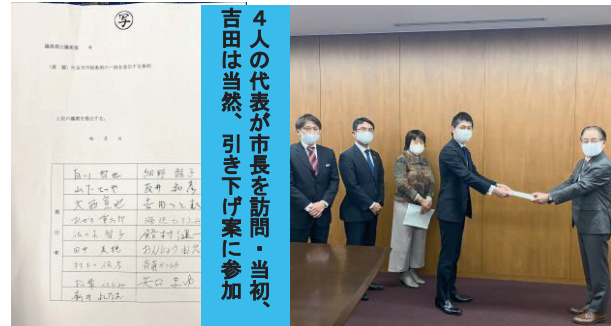
東京オリンピックは、1年延期したこと、当初の予定を変更したこと、コロナ対応を次々と増大させることにより、当初提示された予算を大幅に上回り、際限がなくなっています。今、ここで状況を再考し、留まり、生活優先、新産業創出優先の視点に切り替え、「オリンピックを中止しよう！」のローガンを提示します。

## 都市計画税の税率アップ案を認めず、少数派が連合して、市長に臨時議会招集を請求

1月14日の臨時議会前に書いた原稿を掲載

前期の議会では、3つの都市計画税の税率変更案(①来年度1年間引き下げ案(0.12%)、②3年度分現状維持案(0.24%)、③3年分引き上げ案(0.27%)がいずれも否決となり、更に、④1年分現状維持案+後の2年分引き上げ案)が出されましたが、それも否決になりました。このままでは、本来の条例である0.3%に大幅アップとなるので、保守の会、公明党、共産党、無所属系諸派の議員全員17名(副議長は署名をはずす原則)が連合し、臨時議会の開催を新年早々の6日に請求しました。市長は、4分1(9名)以上の議員から臨時議会の請求があると、議会開催の義務が生じる法律が制定されています。(市長に議会の招集権があります)

最大会派の自民党、まちだ市民クラブ(いわゆる民主党系が主体)は、この間、3年分引き上げ案を頑迷に主張、臨時議会の開催にも賛成をしなかったものです。国政とはまるで、違った政党、会派間の組み合わせです。本会議での少数会派連合の最終合意案、1年間現状維持案(0.24%)が確実に可決するように頑張ります。



4人の代表が市長を訪問・当初、吉田は当然、引き下げ案に参加

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 3期連続トップ当選

# 吉田つとむ

個別対応のインターンシップが好評



ブログ HP  
メールは  
左記を添付  
して送信



開かれた町田市議会に

## 少数会派連合が市民視点で税率を上げず

1月14日に臨時議会が開かれ、都市計画税を引き上げせず、1年間現状維持とする案(0.24%)は、予定通りに17名で提案し、白川議員がコロナ禍で市民負担を増やすことはできない(0.3%になってしまうのを防ぎたい)という趣旨説明を行いました。

戸塚議員の反対討論があり、1度議会で諮って決定したものは軽々しく覆すべきではない、今からの変更では行政の予算執行が大変になるという趣旨でした。その反論を行うため、私は、NO(ノー)原稿で賛成討論を行いました。議会はまず、市民視点で物事を決定すべきである。次の定例会の日程でも税率決定の議案を審議することは可能であるが、行政の予算編成を考慮して臨時議会を請求したものである。今日の会議で議会の役割を果たそうと趣旨を述べました。他に討論は、当初の値上げ案を主張していた議員も多数が、現状維持案の賛成に回りました。賛成27名×反対7名の多数で可決しました。



総括するに、採決で不利な状況でもあえて反対討論した戸塚議員には、敬意を表します。この間、頑迷に臨時会開催に反対しながら、議案に賛成した議員の真意はわかりません。

## 議員ボーナスの減額は審議させず、拒否

保守の会では、第2定例会において、議員のボーナス削減(20%)を決議案として提出しましたが、あっさり否決されました。その理由として、多数派は政務活動費の半減と視察の取り止めで済ませるとする見方でした。(全員賛成)。つまり、直接の削減を行う方法を取り入れる必要はないとする方針でした。

その後、国家公務員のボーナスを削減する人事院勧告が出され、国会で可決される状況に合わせ、東京都、町田市も同じ内容で削減されることになりました。マイナスは過去に訴求しないという理由から、査定日である12月1日以前に決することが必要になり、町田市議会では、第4定例会初日の11月30日の職員・市長とは、別個に同率の削減を行う条例改正の提案を保守の会(共産党が追加署名)で行いました。

しかし、議会の多数派は、私たちが提案する議員ボーナスの引き下げ案自体を審議する動議案を多数決で否決しました。つまり、公の議会で論議することをしなくなかったということです。賛否は別にして、議案を審議するのが議会の役割とっていますが、それを簡単に葬られました。現下の世情に合わせて、自らを削るのは政治家の責務だと思います。この意見は、議会審議を無視されましたが、市役所職員や一般の市民の方々はどのように判断されるでしょうか？

なお、この議員提出議案は、ボーナス支給日の日程上、動議で提出したことで、議案自体を議題に上げないことになり、議案提出を撤回する手続きをすることになりました。議員として、実に悔しい思いです。

★ 吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若い世代のために全てをささげる



ブログ HP  
メールは  
左記を読込  
して送信



インターン生募集中

## 大型箱物建設は選挙公約で問え

第4回定例会の一般質問は、全員（正副議長を除く34人）が質問しましたが、私はそのトップで発言しましたが、第1問目の質問内容は、町田市が進める（仮称）工芸美術館建設に関するものでしたが、これはその他の多数の議員も取り上げ、関心の深さを示しました。質問内容は、「4期目をめざした石阪市長は、その選挙公約（マニフェスト）に、（仮称）工芸美術館建設に関して全く触れていないがその経過を問う」というものでした。市長在職の3期目に提起し、推進したこの計画の評判が悪く、改選の選挙ではその主張を一切取りやめていたものでした。当選した途端に積極建設に方針転換した次第ですが、市長の答弁では、「後援者と話し合っただけから外した」という内容で実にあっさりした返答でした。市長は、新型コロナ対応を含めて、町田市の財政苦境の中で多数の事業の廃止、縮小を見込んでいますが、この工芸美術館建設には執念を燃やして推進を図っています。私の、市長への提案はシンプルで、どうしてもやりたければ、次の選挙に石阪市長が出て、「工芸美術館建設」を掲げて立候補すればよい、と言うものです。



\*写真は、上野の東京国立博物館で行われている特別展「工藝 2020-自然と美のかたち-」を見学した際のもの。国立美術館と異なり、内外の一流工芸品の展示でも閑散としている

## インターン体験記⑧松村エミリ

池袋にある日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会事務局に訪ねました。この事業に関して、前提知識のない状態で説明を受けたのですが、無知な私にも分かりやすく説明をして下さり、大変興味深く思いました。長年、目指されてきた「労働者協同組合法」の成立によって確立することが出来たワーカーズコープさまの現在の事業形態やそれまでの経緯などをお話ししてくださいました。このお話を通して、「ワーカーズコープ」のこの事業への熱い温度感と「労働者協同組合法」成立の念願叶った様子が伝わりました。

ワーカーズコープさまの掲げる「協同労働」という「出資」「経営」「労働」の“三位一体”で労働組合員同士が担い合う働き方に新鮮さを感じました。所謂、「社長」のような「1人のトップ」がいない経営形態については、今まで行ってきた事業の具体例を伺い、地域密着型事業を展開するのに、最適なのだらうと思いました。また、頂いた資料（東京新聞 2020. 12. 23）に掲載されていた「創造集団 440Hz」さんの記事を読み、生きづらさと戦う現場にも、この上下関係のない「協同労働」という働き方がフィットするのだと感動しました。それとともに、このように芯をもって活動されている方々の記事を見て刺激を受けました。

さいごに、「労働者協同組合法」の成立が達成された「ワーカーズコープ」の今後は、この取り組みや働き方の益々の浸透を掲げていってほしいなと思いました。私も、このような働き方が一つの選択肢として通常になる世になればいいなと思いました。



第45期インターン生  
松村エミリ  
(高校3年生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1999年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

支持政党なし：自立と協同の社会

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## キャッシュレス決済がpaypayになった意味

町田市は昨年12月から、今年の1月いっぱいまで、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業（以下、pp事業と表記）を実施しました。使用者には最大20%のそのプレミアムポイントが付与されるものです。ただし、使用可能なのはpaypayに限られます。なぜか、他のキャッシュレス決済手段は使えませんでした。

まずこのpp事業予算の歳入が、全額国費（約12億円）で賄われ、町田市は1円も使わずに実質11億5千万円を消費者に還元する費用とする事業となっており、国がキャッシュレス決済を推進するために実施する事業としての位置づけです。町田市は入札で業者を募集し、一番有利な条件を提示したpaypayを採用したわけですが。聞くところによると、全国の自治体で80%ほどがpaypayを採用しているようです。また、この事業に参加した企業がpaypayに払う手数料は無料（キャンペーン分）であり、町田市内におけるキャッシュレス決済方法は、ますます、この、paypayに集中拡大するでしょう。



計算上、町田市内店舗で消費流通する金額見込みは57億5千万円に上り、一見歓迎される施策ですが、キャッシュレス決済手段が、paypayに一元化していくことのデメリットは一切語られていません。企業に公正な競争を確保させることが、長期的には大事な政治の役割と考えています。

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

★ Blog <https://yoshidaben.jp/wp/> 動画 [youtube.com/user/yoshidaben](https://youtube.com/user/yoshidaben)

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

## インターン体験記⑩星野ひとみ

昭和女子大学キャンパス内にて「産業交流会」が行われました。産業交流会は、年に一度昭和女子大学がインターンシップ等でお世話になっている企業の方々をお招きし、学生と教職員の方々と一緒に情報交換等を行うものです。

新型コロナ感染対策で、参加者の人数制限があり、インターン体験者の（代表）報告会場には入場せず、私は、各学部・学科ごとに開催された第二部の懇談会に参加し、ひさびさに吉田議員にお会いすることができました。学部・学科の教授には、今回のインターンシップで学んだ研修テーマごとに訪問先を変えた研修方法、参加者を少人数に限定したりリアル体験で学んだことや、zoom会議を開いて、見つかった改善点に関して相互に検討したなどを説明できました。



昭和女子大学3年生 星野ひとみ（第46期生）  
私はそのインターンシップでは、議長公邸で山東昭子参議院議長とインターン生2人のみで面談できたことなど、大変貴重な経験を多くさせていただきました。この経験を、今後の自分のキャリア形成に活用できるよう、努力してまいります。